

ノアの方舟

北村 豊
 (信州口腔外科
 インプラントセンター所長)

娘と外食をした時に、奈良漬けが出た。それを見た彼女は、私の出身の奈良の奈良漬けと随分違うのを知って「これ本当に奈良漬けなの」と訊いてきた。私は「これは奈良漬けもどきとも言えるかな」と話したら、話題はもどきの方向に進んでいった。

擬きとは、他のものに似せて作ったものや、まがいものを指すが、タテハモドキ、カミキリモドキなど、擬きをつけたられた当の昆虫は、「私が本家本元だよ」と、偽物を意味する名称を語尾に付けられて怒っていることであろう。人間は、勝手に分類して、それに名称を与えるのが好きであり、自分たちのような動物のことを人間と呼ぶがサルから言わせると、人間は、本家からのれん分けをされたわけでもなく、サルのDNAやノウハウを勝手に持ち出し、しかも自然環境に脅威を与えるもつとも困った動物であり、その名前は、サルモドキということにでもなろうか。

先進国の人間は、とかく神よりも科学を信仰しがちである。科学的思考こそ人間に幸福をもたらすと固く信じているように見受けられる。その結果、われわれの生活が、いろいろな発明などにより物質的には豊かになったことは事実である。これらの物質的、そして経済的に豊かになった国々のことを、それらの国の人びとは自らを先進国と呼び、対極の国々を発展途上国や後進国などと呼んで優越感を味わっている。

しかし、これらの先進国では心の荒廃が進み、犯罪率も増加の一途を辿っている。物質文明は、一種の麻薬であり、そこにどつぷりと漬かってしまった人びとには、その陰に隠れた心の荒廃は見えにくく、物質と共に



お母さん手作りのふんどしは先住民の注目の的になった(1980年)。
 ・写真は2点とも筆者提供。



キラキラと輝く瞳をもつマレーシア先住民の子どもたち。

北村 豊 (きたむら・ゆたか)

1948(昭和23)年 奈良市生まれ。信州口腔外科インプラントセンター所長。松本歯科大学口腔顎面外科臨床教授。

1977年青年海外協力隊の歯科医師としてマレーシアへ。オラン・アスリ(マレーシア先住民)と3年間寝食を共にする。以来何回となく訪れている。吹矢はオラン・アスリと同等の技量。小布施町在住

それらを手に入れていることが多い。PL法のよう「この製品を手に入ると、あなたの生活にこのようなマイナス面を来たす可能性がある」とは、絶対に記載されることはなく、それらの物質文明を享受しているのが、市場経済で豊かになった北の国であり、南の国では疾病や貧困に喘いでいる現実がある。

科学の発展に伴う物質文明の進歩は、心の荒廃をパラメーターとして見ることができるとは、心は荒廃をパラメーターとして見ることは、先進国をモデルとして見た場合のみならず、私が生活した発展途上国や経済的分類では最貧国といわれる国々にもあてはまる。

私は、国立マレーシア先住民病院に三年間配属され、医療活動を経験した。そこでは、マレー半島のジャングルに住む人びとと多くの時間を共有した。ここでの生活は先進国とは対極に位置するものであったが、先住民の心は豊かであり、毎日森林浴をしている彼らの中では精神的疾患もほとんどなく、ゆつたりとした時の流れがあった。生活に必要なものは全て森の恵みから得ており、市場経済・物質文明とは程遠い生活を営んでいる先住民から先進国の人びとの生活をみると、「そんなに急いで何処へ行くの?」ときつと言うに違いない。

生きていくうえで豊かさとは一体何なのだろうか。また、先進国の人びとの乗った船は何処へ向かっているのだろうか。歩を止めて熟考してみる必要がある。

地酒・漬物

殺草

天然醸造

佳州小茶地

地酒・漬物
 取りまします

天明四年創業
 殺草味・醸造場
 長野県上高井郡小布施町734
 ☎026(247)2134

殺草屋平左エ門